

## 守ろう！世界農業遺産「大崎耕土」豊かな自然 積極的活用と侵略的外来種の防除による里山・里地生態系保全

シナイモツゴとゼニタナゴなどの絶滅危惧種が100年以上にわたり繁殖し生息する旧品井沼周辺のため池 撮影:久保田

タガイに産卵するゼニタナゴ 撮影:秦

倒木に産み付けた卵を守るシナイモツゴ 撮影:秦

**2018年10月20日(土)** 会場:宮城県大崎合同庁舎(宮城県大崎市古川旭4丁目)

**第1部 世界農業遺産「大崎耕土」指定と地域ぐるみの生態系保全活動** 9:45~12:00

【世界農業遺産がめざすもの 世界農業遺産指定と今後の展開】

世界農業遺産認定と今後の展開 武元将忠(大崎市産業経済部)

【豊かな自然を復元し長期保全するための取り組み】

世界農業遺産「大崎耕土」における生態系保全活動の役割 岩淵成紀(田んぼ)

里山・里地水辺の自然を復元し活用する 高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

【次世代への継承をめざす自然再生活動】

シナイモツゴを復元した里親小学校の取り組み 安住芳朗(シナイモツゴ郷の会)

小学生による里地の小川生き物観察会 久保田龍二(シナイモツゴ郷の会)

【自由討論】

座長:佐藤弘樹(シナイモツゴ郷の会)

**第2部 ポスター発表 展示発表** 12:30~14:00

【生き物ブランド米で豊かな自然を守り続ける農業者の活動】

シナイモツゴ郷の米でシナイモツゴを守る

吉田千代志(シナイモツゴ郷の米づくり手の会)

ふゆみずたんぼ米で渡り鳥と共生する 西沢誠弘(たじり穂波公社)

【水辺環境の変化と生き物たちの盛衰】

消えた天然池沼-品井沼など仙台平野の干拓事業

三浦仁一(シナイモツゴ郷の会)

霞ヶ浦周辺の貝塚調査から見た太古の魚類相

阿部きよ子(穴塚の自然と歴史の会)

手賀沼におけるニホンウナギの盛衰 半沢裕子(手賀沼水生研)

品井沼明治大正期の漁業と現在の魚 鈴木光太郎(シナイモツゴ郷の会)

【豊かな自然を守る新技術と成果】

アメリカザリガニ連続捕獲装置の改良 高橋清孝他(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニ繁殖阻止ツールの開発 長谷川政智(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニの特産品化をめざして 坂本 啓(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニを防除した池で復元したゼニタナゴ

秦泰之(シナイモツゴ郷の会)

洞爺湖におけるウチダザリガニの防除と効果

室田欣弘(UWクリーンレイク洞爺湖)

魚の産卵・生育場を復元する水田魚道 三塚牧夫(ナマズのがっこう)

洪水防止水田の「多機能落木拵」の改良 根元信一(東北興商)

【自由課題(一般募集中)】

**第3部 水辺の侵略的外来種の防除と成果**

【国家戦略】

侵略的外来種防除の国家戦略 北橋義明(環境省)

【侵略的外来種防除の歴史と展望】

侵略的外来種防除と生態系保全 細谷和海(近畿大学・魚類学会会長)

ブラックバス防除の歴史 小林光(全国ブラックバス防除市民ネットワーク事務局長)

【アメリカザリガニの防除と効果】

アメリカザリガニ連続捕獲装置による捕獲と効果 高橋清孝他(シナイモツゴ郷の会)

アメリカザリガニ繁殖の抑制 長谷川政智・高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

連続捕獲装置を用いたアメリカザリガニ低密度化の検討

~金沢市夕日寺健民自然園(トンボ池)での事例 工藤秀平(金沢大)他4名

~都立光が丘公園池(東京)での事例 佐藤方博(生態工房、東京都)

**第4部 総合討論**

座長:半沢裕子(手賀沼水生研)・高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

主催:水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会(NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう)

後援:大崎市、大崎市教育委員会、JAみどりの、東洋ゴムグループ環境保護基金

◀ 問い合わせ先:シナイモツゴ郷の会 MAIL:kiyotaka-toto\*ktf.biglobe.ne.jp、TEL:090-4043-3692 ▶